

(6) 2018年(平成30年) 2月8日(木曜日)

2月3日は日本では節分でした。節分とは、もともとは季節を分けるという意味なのだそうです。ですから節分は、春の訪れを告げ知らせる行事ということになりますね。

子供の頃は年齢の数だけ豆を食べる、ということを楽しんでやっていたように思いますが、現在の自分の年齢の数だけ豆を食べたらお腹をこわしてしまいそうです(笑)。ところで、なぜ節分に豆まきをするのでしょうか？それは豆は「魔滅(まめ)」に通じ、無病息災を祈るという意味があるからなのだそう

す。確かに嫌なことや悲しいことはなるべく避けて生きていものですが、現実はなかなかそうはいきません。錬に合わせることはないばかりか、試練と同時に、それに耐えられるように、のがれる道も備えて下さるのである」

南加キリスト教教会連合

耐えられぬ試練はない

榊原 宣行

「あなたがたの会った試練

で、世の常でないものはない。神は真実である。あなたがたを耐えられないような試

(Iコリント10章13節)

数年前から日本では「心が折れる」という表現を使うようになった。心がポキッ

と折れてしまい、気力も何もかも失われてしまう、ということ。確かにこういう経験は、誰にでもあるのではないだろうか。病、災害、そ

して身近な人間関係、家族の問題、仕事や将来の悩み、さまざまなのが私たちの心をポキッとさせてしまいます。だから聖書には、そのように書いてあるのです。「それは試練だけれど、逃れる道を神様は備えてくださるよ。だから厳しい現実だけれど、神様を見上げて歩みなさい、そう、歩むことが出来るんだ。なぜなら、神は真実だから」と、聖書は私たちに教えてい

ます。 昨年の流行語(?)の一つに『フェイクニュース』という言葉がありました。情報自由自在に世界中を行き渡るとの時代、便利なことも多いですが、一体なにを信じていいのか分からないということも起きています。しかし聖書は教えています、神様は真実だということ。真実な神様が共にいてくださり、逃れの道をも備え、あなたの人生を導くと約束しておられます。(オレンジ郡キリスト教会 牧師)